

【地域協働推進課からのお知らせ】平成29年度北海道原子力防災訓練を実施します

平成29年度北海道原子力防災訓練を次のとおり実施しますので、お知らせします。

今年度の訓練は、泊村、共和町、岩内町、寿都町、蘭越町が町外への住民避難訓練を行い、本町は昨年度同様、住民の方が参加する町外への避難訓練は実施されません。

よって、本町においては要配慮者（障がい者、要介護者、児童など）の避難体制の強化を目的として、町内の社会福祉施設、病院、学校などとの通信連絡訓練や施設における**屋内退避***訓練を実施します。あわせて、観光客などの一時滞在者の避難手順について確認することを目的として、町内観光施設との通信連絡訓練も実施します。

また、当日は、皆さんがお持ちの携帯電話に北海道から訓練用の緊急速報メールが届くほか、大型バスや自衛隊車両などの訓練走行やヘリコプター等の航空機が飛行するなど、皆さまにはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

実施日時 2月8日（木） 午前9時～午後3時（予定）

実施場所 本町を含む泊発電所周辺 13 町村、札幌市など

※2月5日（月）に、**防災関係機関によるオフサイトセンター（OFC）運営訓練**などを実施します。

※訓練の詳細については、**広報に折り込みの北海道原子力防災訓練のパンフレット**をご覧ください。



***屋内退避**：泊発電所で事故が起きた場合、事故の進展状況によってとるべき避難行動（防護措置）がいくつかありますが、その初めの段階でとるべき行動が屋内退避です。

詳細は、平成26年5月に配布した「原子力防災のしおり」をご覧ください。

問合せ 地域協働推進課 防災グループ ☎21-2142

【札幌管区气象台からのお知らせ】～冬の地震災害に備える～

地震はいつ、どこで発生するかわかりません。冬の寒い時期に発生した大きな地震としては、「平成5年（1993年）釧路沖地震」（1月15日）や、「平成7年（1995年）兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）」（1月17日）などがあります。もし、冬に大きな地震が発生した場合、雪の多い北海道では、夏よりも被害が大きくなるといわれています。今回は、冬に地震が発生した場合の備えについて紹介します。

①雪への備え

屋根に多くの雪が積もっていると、雪の重みにより家の倒壊の危険性が高くなります。また、地震の揺れによる屋根からの落雪で、避難路がふさがれることもあります。日頃から自宅周辺などで落雪のおそれがあるところを確認しておきましょう。



②火災への備え

冬は夏と比べて風が強く空気が乾燥しており、また、ストーブなど暖房器具を使用しているため、火災の危険が高くなります。地震が起きたらまず身の安全を守り、揺れがおさまってから暖房器具やガスコンロの火を消してください。

最近の暖房器具は、地震を検知して自動的にガスや灯油の供給を止める機能が備わっているものが増えてきました。ご家庭の器具に機能が備わっているか、きちんと動作するかなど、定期的に点検・確認しておきましょう。

また、電気が復旧する際に電気製品などがショートすることにより、火災が発生することがあります。避難する時には必ずブレーカーを落としましょう。

③寒さへの備え

地震によって電気やガスなどのライフラインがストップし、暖房器具が使えなくなることが考えられますので、防寒着、毛布、使い捨てカイロなどを用意しておくことも大切です。防寒着などは、避難所への移動時やその後の避難生活でも必要となります。寒さへの対策についても考えておきましょう。



問合せ 札幌管区气象台 気象防災部 地震火山課 ☎011-611-6125

余市町の空間放射線量率の状況

空間放射線量率は「**平常レベル**」でした

測定日：12月21日～1月23日
最高値：44 nGy/h
最低値：26 nGy/h
平均値：30 nGy/h

※直近の測定結果については、町ホームページでご覧いただけます。

私たちは日常的に自然界から微量の放射線を浴びています。平常時に測定される「空間放射線量率」は10～60 ナノグレイ毎時（nGy/h）程度で、雨が降ると一時的に上昇する場合があります。

問合せ 地域協働推進課 ☎21-2142